

研修責任者等研修事業 都道府県名 (岐阜県)
(実地指導者研修)

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 (1)箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

参加者数の椅子・机の確保、100名以上が演習でグループワークできる場所

3. 研修開催回数 延べ(5)回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回	(133)名	(128)名
第2回	(133)名	(124)名
第3回	(133)名	(127)名
第4回	(133)名	(128)名
第5回	(133)名	(124)名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	(133)名	(133)名
診療所	()名	()名
助産所	()名	()名
介護老人保健施設	()名	()名
指定訪問看護事業所	()名	()名
その他 ()	()名	()名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	(7)名
100～200床未満	(18)名
200～400床未満	(79)名
400床以上	(29)名

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	()名
看護副部長	()名
師長	(2)名
係長・主任	(11)名
スタッフ	(120)名
その他	()名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

新人看護職員に対して、OJT(on the job training)の中で直接指導、評価等を行う看護職員で全日程受講できる者を対象として募集を募り、施設の推薦により受け付けた。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

- ・岐阜県看護協会の全会員に教育計画(詳細は掲載せず)を配布し周知。
- ・後日詳細(目的・対象・プログラム等)を県下すべての病院へ送付
- ・ホームページにて周知

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式
B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
7月30日	新人看護職員の現状	5	<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員をめぐる現状と課題 ・新卒看護職員の特徴と課題 ・看護教育における生涯学習 ・新人看護職員臨床研修ガイドラインの考え方 ・成人学習者の特徴と教育方法 ・看護教育方法の視座「わかること」と「できること」 ・主体的な活動を支援するために
10月1日	組織の教育システム	5	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の理念と人材育成の考え方 ・施設内の教育体制 ・新人看護職員の技術修得状況 ・実地指導者の役割 ・実地指導者が経験しやすい指導上の問題と困難、その解決方法
10月29日	看護師術の指導方法	5	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーション教育とは <ul style="list-style-type: none"> 1.医療の変革 2.変わる看護教育とシミュレーション教育 ・効果的な指導1 <ul style="list-style-type: none"> 1.シミュレーション教育を支える教育観 1.シミュレーションの実際と指導方法
11月22日	メンタルサポート支援	5	<ul style="list-style-type: none"> 新人・若手のやる気を引き出すコーチング的アプローチ ・ゆとり世代の特徴とは ・指導者のもつ「先入観という思考のワク」 ・新人指導を「恐育」にしない話の聞き方 ・聞く・聴く・訊くの違い ・プリセプターはなぜつらい？ ・困ったプリセプティの個別面談の実際 <ケーススタディ> 「言葉つかいの悪い新人へのからのクレーム」 上手なほめ方・叱り方 指導者のあり方
1月27日	学習に関する基礎知識	5	<ul style="list-style-type: none"> 講義「人を育てる伝え方・教え方」 講義・DVDで学ぶ指導上のNG 演習・討論結果の発表・ふりかえり 演習・イメージ交換ゲーム ・全体のまとめ

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

3. 講師数(実人員)

- 看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) (2)名
- ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 (3)名
- 施設の教育担当者(教育責任者等) (1)名
- 専門看護師・認定看護師 ()名
- その他 ()名

その他の職種： 職種等(教育コンサルタント) (1)名
職種等() ()名
職種等() ()名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

(5)日 (25)時間

5. 4. の内訳 講義 (18)時間 演習 (7)時間
その他 () ()時間 オリエンテーション ()時間

IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・企画をたてる際、新人看護職員を直接指導する指導者として必要な知識を5日間にわけて企画
・分りやすく講義していただける講師の選択等

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

・実地指導者研修は第1回目として取り組んだが、38施設(病院施設の約37%)からの参加があった。5日間を通して参加できる方としたこともあり、3割の施設が参加できたことはよかったと考える。また、133名中、126名の方に受講証明書を発行することができた。
それぞれの立場で、1日目は新人の現状や課題・特性を理解し、今まで何となくやってきた指導が明らかになり、2日目の研修では、自分の役割や今後の方向性を知ることができ、どのようにサポートしていったらいいか知ることができた。
3日目はシミュレーション教育を実際間近かで見学でき、すぐに実践できる内容で、今後指導する際ヒントになることが沢山あった。
4日目は自己の振り返りができ、一番聞きたかったことが聞けた、新人教育に対して実践していけそうだと評価しており、5日目は新人指導やその他の人間関係に役だてられそうな内容だった、コミュニケーションの取り方がわかった、ヒントがもらえたなど、施設に帰り即活かせる内容であった。
この事業を通し、施設には聞くことができない内容と講師から直接学ぶ機会を得ることができた。また、「ガイドラインの考え方」を学ぶことにより教育の必要性が理解できた。今後もすべての施設に定着できるまで継続していきたい。

V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託 A 委託していない B 委託している 委託先(岐阜県看護協会)